

平成 26 年 3 月期第 1 四半期決算のお知らせ

三井不動産株式会社は、本日、平成 26 年 3 月期第 1 四半期決算を確定しましたのでお知らせいたします。なお、詳細につきましては、本日東京証券取引所に提出いたしました「第 1 四半期決算短信」をご覧ください。

◆連結業績概要（単位：百万円）

	当第 1 四半期 (平成 25. 4. 1~6. 30)	前第 1 四半期 (平成 24. 4. 1~6. 30)	増減(率)		通期予想 (平成 25. 5. 9 公表)	進捗率
売上高	284,450	279,902	4,548	(1.6%)	1,530,000	18.6%
営業利益	26,580	24,544	2,036	(8.3%)	160,000	16.6%
経常利益	20,350	16,827	3,522	(20.9%)	132,000	15.4%
四半期純利益	16,773	9,074	7,698	(84.8%)	65,000	25.8%

◆全体要旨

—主に「マネジメント」セグメントにおいて増収増益、「三井ホーム」セグメントにおいて増収および損益改善となったことにより、当第 1 四半期の売上高は 2,844 億円と前年同期比 45 億円（1.6%）の増収、営業利益は 265 億円と同比 20 億円（8.3%）の増益、経常利益は 203 億円と同比 35 億円（20.9%）の増益。経常利益の増益に加え、固定資産売却益を特別利益に計上したことにより、四半期純利益は 167 億円と同比 76 億円（84.8%）の増益となり、業績は通期予想に対して順調に進捗。

◆各セグメント要旨

- 「賃貸」セグメントでは、前期に竣工した「日本橋アステラス三井ビルディング」の通期稼働による収益寄与等があり、売上高 1,086 億円、営業利益 273 億円となり、前年同期比 5 億円の増収、同比 15 百万円の増益。
- 東京都心部のオフィス賃貸市況は空室率の低下傾向が継続しており、当社の首都圏オフィス空室率（単体）は 3.8%。
- 「分譲」セグメントでは、個人向け住宅分譲において、計上戸数の減少により、前年同期比 109 億円の減収、同比 19 億円の減益。投資家向け分譲等では前年同期比 75 億円の増収、同比 3 億円の減益。セグメント全体では売上高 477 億円、営業利益 3 億円となり、前年同期比 34 億円の減収、同比 23 億円の減益。
- なお、個人向け住宅分譲は好調な販売状況が続いており、新築マンション分譲では、当期計上予定戸数 6,450 戸に対する当第 1 四半期末の契約進捗率は 72%（前年同期 61%）。
- 「マネジメント」セグメントでは、好調な既存住宅マーケットを受け、リハウス事業における仲介件数が増加したこと等により、売上高 735 億円、営業利益 105 億円となり、前年同期比 22 億円の増収、同比 27 億円の増益。

◆連結業績予想

当第 1 四半期の業績は、期初（平成 25 年 5 月 9 日）に公表いたしました通期の売上高、営業利益、経常利益、当期純利益の見通しに対し、順調に進捗しており、当該予想数値の変更はありません。

以 上

注意事項

本資料に記載された将来の業績の見通しに関する事項につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。

<添付資料>

- ・平成 26 年 3 月期 第 1 四半期決算短信
- ・平成 26 年 3 月期 第 1 四半期決算短信 補足説明資料

本日この資料は以下の記者クラブに配布しています。

○兜クラブ ○国土交通記者会 ○国土交通省建設専門紙記者会

お問い合わせ先 三井不動産株式会社 広報部 03 (3246) 3155
--